

2025年6月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位更新

※「日最高気温の高い方から」「日最低気温の高い方から」の観測日を修正

- 7 その他

山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2025年6月）

【今月の特徴】

○記録的な高温 ○6月14日ごろ梅雨入り（速報）

- ・山形など21地点で月平均気温の高い方からが6月として1位を更新した。
- ・新庄など7地点で日最高気温の高い方からが6月として1位を更新した。
- ・山形など10地点で日最低気温の高い方からが6月として1位を更新した。

【概況】

月

この期間、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、梅雨前線や低気圧の影響で、中旬は雨や曇りの日が多かった。

月平均気温はかなり高く、月平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも高い方から、6月の極値を更新する地点があるなど記録的な高温となった。月降水量は、梅雨入りした中旬には、まとまった雨が降ったが、月降水量は平年並か少なく、村山ではかなり少ない所があった。月間日照時間は、平年並か多く、最上、村山、置賜ではかなり多い所があった。

上旬

高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、期間前半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日があった。

旬平均気温は平年並から高い。旬降水量は平年並から少なく、庄内と最上ではかなり少ない所があった。旬間日照時間は平年並で、庄内と最上では多い所が、置賜では少ない所があった。

中旬

期間の前半は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、期間の後半は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は、庄内と最上で平年並から少ない、村山で平年並か多い、置賜で多い。旬間日照時間は多く、村山と置賜でかなり多い所があった。

下旬

高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、期間中ごろは梅雨前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は庄内と最上で平年並、村山と置賜で少ない。旬間日照時間は庄内と最上で平年並、村山では平年並から多く、置賜では多い。

2 日々の気圧配置（2025年6月）

- 1 日：低気圧が、三陸沖にあって北東へ進む。
- 2 日：高気圧が、北陸付近にあって日本の東へ移動する。一方、低気圧が東シナ海にあって東へ進む。
- 3 日：低気圧が、九州付近にあって関東沖へ進む。
- 4 日：低気圧が、日本の東にあって千島近海へ進む。また、気圧の谷が北日本を通過する。一方、高気圧が東シナ海にあって東へ移動する。
- 5 日：高気圧が、東シナ海から日本の南に移動し本州付近を緩やかに覆う。一方、低気圧がサハリン付近にあって北東へ進む。
- 6 日：高気圧が、日本の南にあって東に移動し、本州付近を緩やかに覆う。
- 7 日：高気圧が、日本のはるか東にあって、本州付近を緩やかに覆う。
- 8 日：高気圧が、黄海付近にあって東へ移動し、本州付近を緩やかに覆う。一方で気圧の谷が北日本を通過する。
- 9 日：高気圧が、日本の東にあって、本州付近を緩やかに覆う。一方、梅雨前線が華中から九州南部、日本の南を通して日本のはるか東にのびている。
- 10 日：高気圧が、日本のはるか東にあって北日本を緩やかに覆う。一方、梅雨前線が華中から西日本と東日本を通して日本のはるか東にのびる。
- 11 日：前線が、東シナ海から西日本、東日本を通して、日本のはるか東にのびている。また、低気圧が日本海にあって北東へ進む。
- 12 日：高気圧が、日本海にあって東に移動する。一方、低気圧が北海道付近にあって東へ進む。
- 13 日：高気圧が、本州付近にあって東へ移動する。
- 14 日：低気圧が、日本海にあって東北東へ進み、前線が東北地方にのびている。
- 15 日：低気圧が、日本海から三陸沖へ進み、低気圧からのびる前線が東北地方を通過。
- 16 日：低気圧が、日本の東を北東へ進む。また、別の低気圧が日本海を東北東へ進む。
- 17 日：低気圧が、日本海から北海道付近に進み、その後不明瞭となる。一方、高気圧が、日本の南にあって日本付近を緩やかに覆う。
- 18 日：高気圧が、日本の南に停滞し、日本付近を緩やかに覆う。
- 19 日：高気圧が、日本の南に停滞し、日本付近を緩やかに覆う。
- 20 日：高気圧が、日本の南に停滞し、日本付近を緩やかに覆う。一方、前線上の低気圧が黄海から日本海へ進む。
- 21 日：高気圧が、日本のはるか東にあって、緩やかに日本付近を覆っている。一方、前線が華中から朝鮮半島を通して北海道付近にのびている。
- 22 日：華中から東シナ海を通して北海道付近にのびる前線が日本付近を南下する。
- 23 日：華中から東シナ海、九州を通して日本の東にのびる前線が停滞する。また、台風第2号が小笠原諸島付近に発生し、北西へ進む。
- 24 日：華中から東シナ海、九州を通して日本の東にのびる前線が停滞する。また、台風第2号が日本の南を、北西へ進む。
- 25 日：低気圧が、日本海を北東へ進み、低気圧からのびる前線が東北地方を北上する。また、台風第2号から変わった熱帯低気圧が八丈島付近を北へ進む。
- 26 日：低気圧が、日本海から津軽海峡へ進み、低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 27 日：低気圧が、千島近海を北東へ進む。また、気圧の谷が北日本を通過する。
- 28 日：高気圧が、日本海にあって東へ移動する。

29日：高気圧が、日本付近を覆う。

30日：高気圧が、日本付近を覆う。

3 気候統計値（2025年6月）

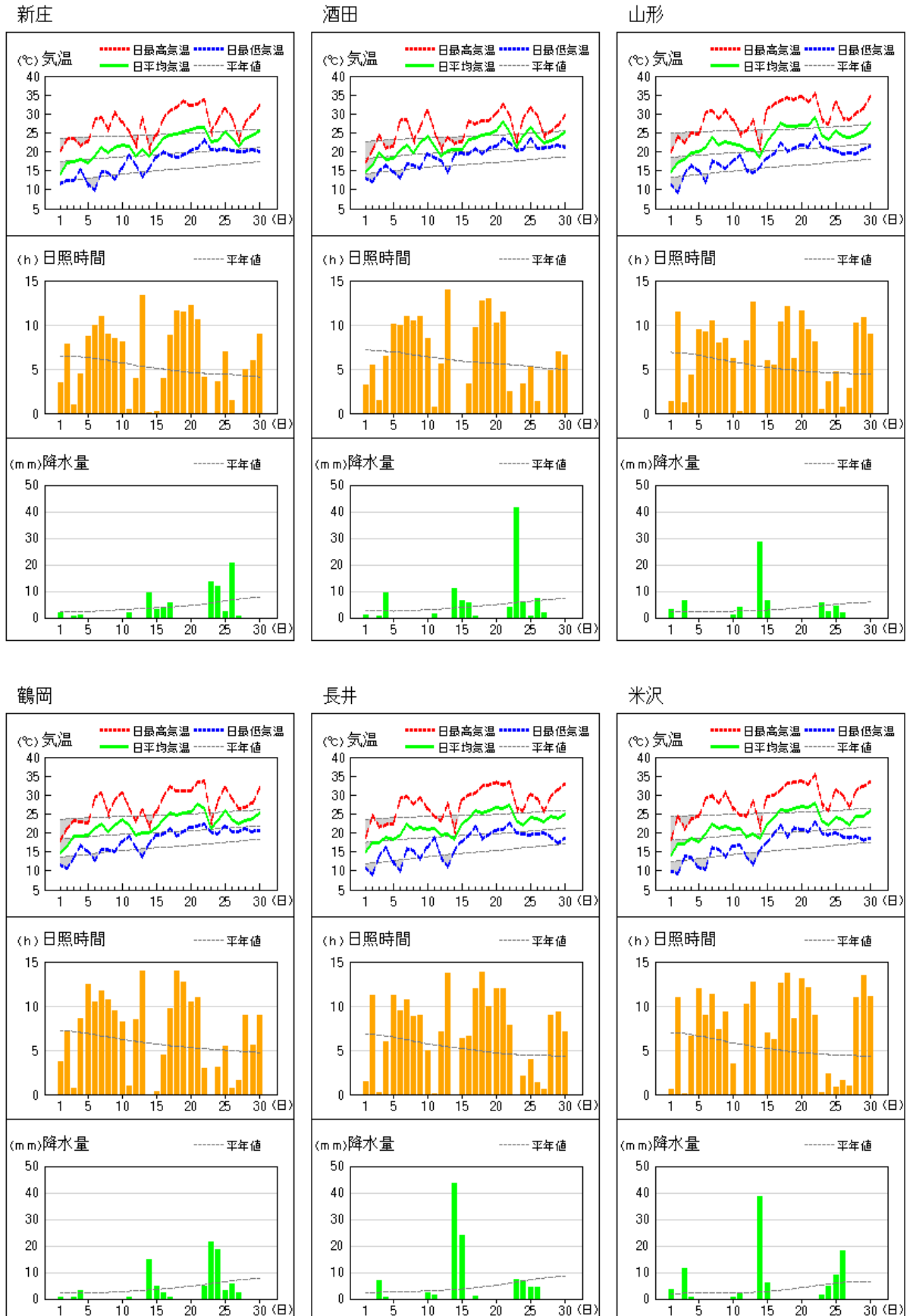
・2025年6月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	20.1	+0.9	高い	10.5	51	平年並	69.8	103	平年並
	中旬	23.8	+3.5	かなり高い	39.0	132	多い	72.7	140	かなり多い
	下旬	25.5	+4.1	かなり高い	14.5	27	少ない	59.6	132	多い
	月	23.1	+2.8	かなり高い	64.0	61	少ない	202.1	122	かなり多い
酒田	上旬	19.6	+0.6	高い	11.0	54	平年並	77.3	109	平年並
	中旬	22.3	+2.3	かなり高い	25.0	60	少ない	69.1	120	多い
	下旬	24.4	+3.2	かなり高い	61.0	97	平年並	42.1	79	平年並
	月	22.1	+2.1	かなり高い	97.0	77	平年並	188.5	104	平年並
新庄	上旬	18.7	+0.6	高い	3.5	17	少ない	71.8	110	平年並
	中旬	22.5	+3.2	かなり高い	23.5	58	平年並	66.0	134	多い
	下旬	24.3	+3.8	かなり高い	49.0	75	平年並	46.7	105	多い
	月	21.8	+2.5	かなり高い	76.0	60	少ない	184.5	117	多い
米沢	上旬	19.1	+0.4	平年並	16.0	76	平年並	70.5	102	平年並
	中旬	23.0	+3.1	かなり高い	46.5	180	多い	84.1	162	かなり多い
	下旬	24.4	+3.5	かなり高い	33.5	50	少ない	62.3	140	多い
	月	22.2	+2.4	かなり高い	96.0	84	平年並	216.9	131	かなり多い

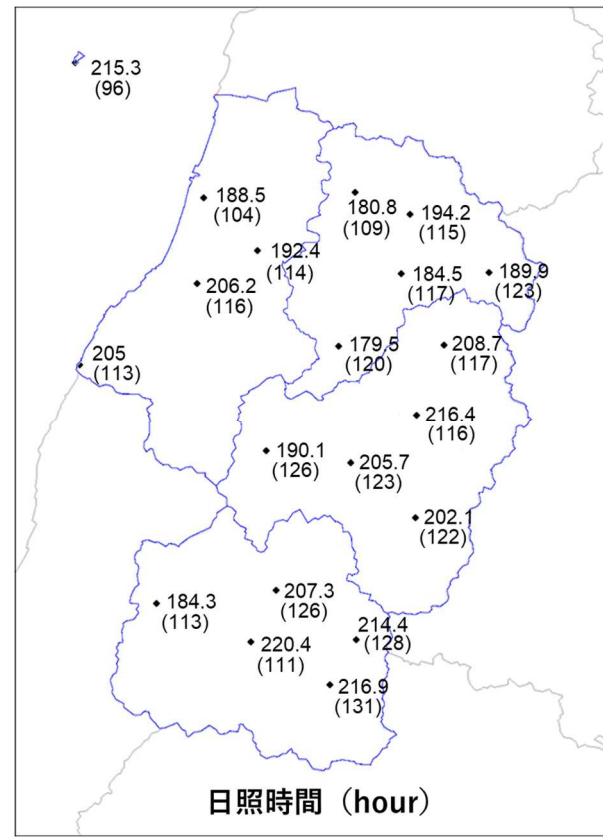
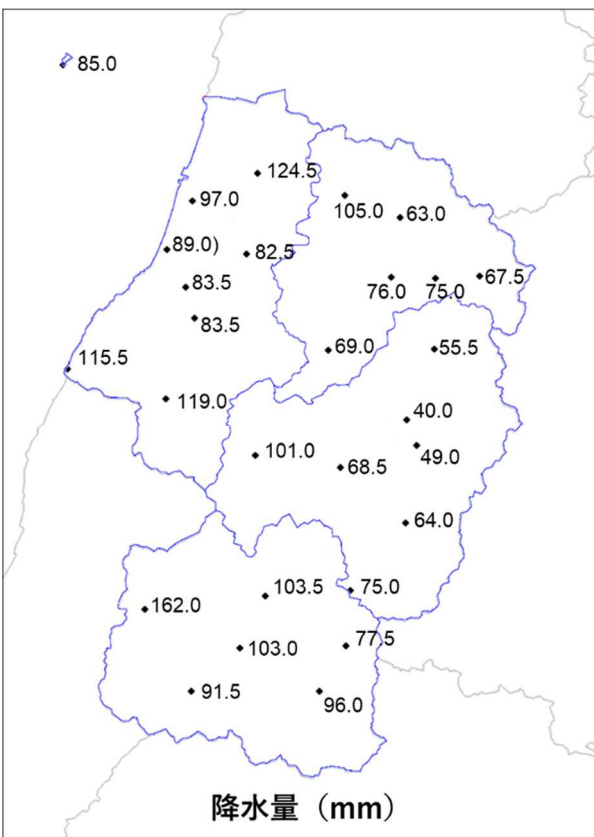
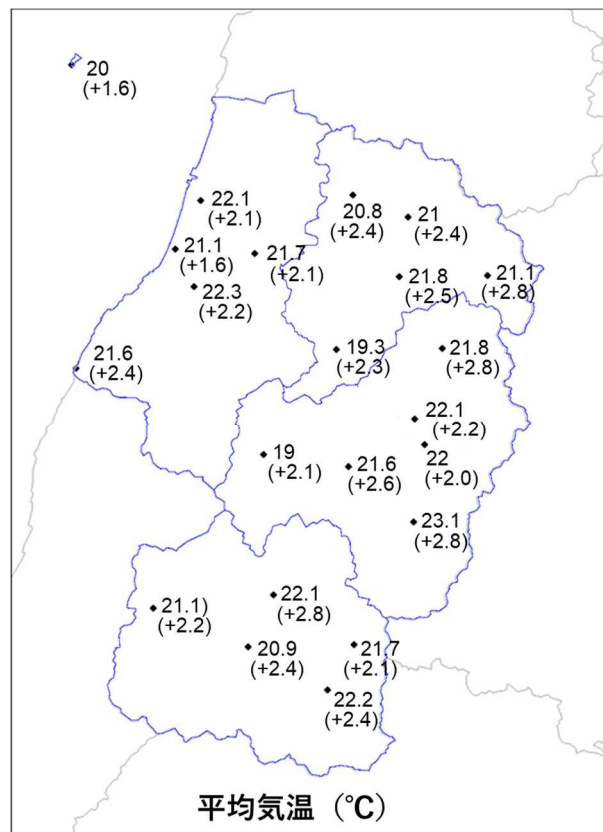
注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし （平年値は1991～2020年の平均値）

4 気象経過図（2025年6月）

アメダス 気象経過図：2025年06月01日-2025年06月30日



5 気象分布図（2025年6月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位更新 (2025年6月)

気象官署及び特別地域気象観測所（山形・酒田・新庄）：6月として1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (℃)	山形	23.1	1	—	1890年
	酒田	22.1	1	—	1937年
	新庄	21.8	1	—	1958年
日最高気温の高い方から (℃)	山形	35.4	3	6月22日	1890年
	新庄	33.8	1	6月22日	1958年
	新庄	33.4	3	6月19日	1958年
日最低気温の高い方から (℃)	山形	24.3	1	6月22日	1890年
	酒田	23.5	3	6月21日	1937年
	新庄	23.1	2	6月22日	1958年

地域気象観測所（山形・新庄・酒田除く）：6月として1位更新を記載（統計期間10年以上）

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (℃)	差首鍋	20.8	1	—	1977年
	浜中	21.1	1	—	2003年
	金山	21.0	1	—	1977年
	鶴岡	22.3	1	—	1977年
	狩川	21.7	1	—	1977年
	向町	21.1	1	—	1977年
	肘折	19.3	1	—	1977年
	尾花沢	21.8	1	—	1976年
	鼠ヶ関	21.6	1	—	1977年
	村山	22.1	1	—	2002年
	東根	22.0	1	—	2003年
	大井沢	19.0	1	—	1979年
	左沢	21.6	1	—	1977年
	長井	22.1	1	—	1977年
	小国	21.1	1	—	1977年
	高畠	21.7	1	—	1977年
	高峰	20.9	1	—	1977年
	米沢	22.2	1	—	1976年
日最高気温の高い方から (℃)	狩川	32.4	1	6月21日	1977年
	向町	33.6	1	6月19日	1977年
	肘折	30.6	1	6月22日	1977年
	尾花沢	33.3	1	6月19日	1976年
	小国	34.2	1	6月20日	1977年
	米沢	35.4	1	6月22日	1976年

日最低気温の高い方から (℃)	狩川	23.3	1	6月21日	1977年
	向町	21.8	1	6月22日	1977年
	尾花沢	23.1	1	6月22日	1976年
	左沢	22.3	1	6月22日	1977年
	村山	23.2	1	6月22日	2002年
	東根	22.4	1	6月22日	2003年
	長井	22.7	1	6月22日	1977年
	高畠	22.2	1	6月22日	1977年
	米沢	23.0	1	6月22日	1976年

※同じ値（タイ記録）の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

○梅雨入り

山形県を含む東北南部は、6月14日ごろに梅雨入りしたとみられる（平年より2日遅い、昨年より9日早い）。

○生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測を行っています。

【生物季節観測】（2025年6月）

種目	現象	2025年	平年	平年との差	2024年	昨年との差	観測した場所
あじさい	開花	6月23日	7月3日	10日早い	6月20日	3日遅い	気象台構内

※平年値は1991～2020年の平均値

生物季節観測の2025年の観測状況は、山形地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000